



SPHERE LIGHT

RIZING III

for motorcycle

H7

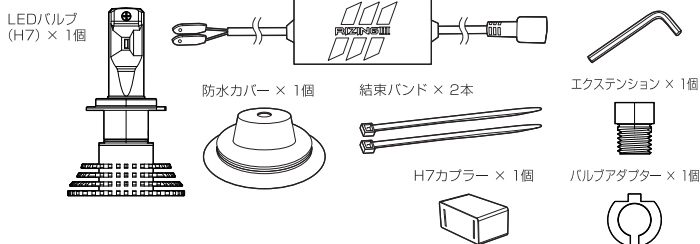
6000K

取扱説明書

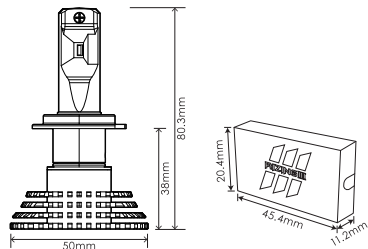
注意事項

LEDチップに手を触れたり水気や油脂などの汚れを付着させると故障の原因となりますのでご注意ください。

セット内容



製品サイズ



製品仕様

消費電力	31W*
動作電圧	DC12V
耐振	20G
ルーメン	3000lm
カラー	6000K (ホワイト)
製品寿命	50000時間*
保証期間	お買上げ日から3年間

※数値は規格値であり保証値ではありません。

取付け車両についてのご注意



本製品は、直流(DC)のバッテリー車専用の為、交流(AC)のバイクにはご使用できません。
直流(DC)と交流(AC)の見分け方(一例)
キー ON時にヘッドライトが点灯する車両は直流(DC)、点灯しない車両は交流(AC)の可能性あります。

キーをONに回す

主な交流(AC)車両

点灯する = 直流(DC)

GROM/ペンリィ/APE/TW/モンキー/ゴリラ など

点灯しない = 交流(AC)の可能性あり

※ご不明の場合は、お近くの車両メーカーおよび販売店へお問い合わせください。

はじめに

- 本製品は直流(DC) 12V専用です。直流(DC) 12V以外の用途で使用しないでください。
- 本製品はH7バルブを使用したランプに装着することができますので、交換前に使用していたバルブの表示をご確認の上、間違いないようご注意ください。
- 本製品に交換した際、輸入車を含む一部車両では球切れ警告灯が点灯する場合があります。また、球切れなどを感知するためにスイッチを切った状態でも車両側が微弱電流を流しており、かすかに点灯してしまう場合がありますが、製品の不良ではありませんので、予めご了承ください。(この場合の消費する電流は微弱であるため、バッテリーの早期上がりが発生することはありません。)
- LEDはHIDやハロゲンバルブと発光方法が異なるため、同じ色温度でも異なった色に見える場合があります。灯具によっても発光色が変わる場合があります。
- アイドリングストップ機能を保有している車両やバッテリーが弱っている車両に使用した際、ロービームとハイビームを切替える際、エンジン始動時に一瞬点灯やチャツキなどの症状が発生する場合があります。
- 経年劣化などでリフレクターやレンズ表面が損耗している灯具に本製品を使用した場合、製品本来の性能が充分発揮されず車検に通らない場合があります。その場合には元のバルブに交換してください。それでも充分な光度が得られない場合はレンズ交換が必要です。
- 本製品を点灯させた際、ラジオなどにノイズが入る場合がありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
- 光軸は走行時のショック、タイヤの空気圧や車体重量の変化によりずれる場合がありますが、製品の故障ではありませんので適宜光軸調整を行ってください。
- 保安基準などの自動車関連法に抵触しないようにご使用ください。

使用上のご注意

- 本製品の点灯時および消灯直後に、LEDバルブ、コード類には触れないでください。感電や火傷により、重大な事故につながる恐れがあります。
- 本製品の点灯中の光を直射しないでください。視力障害の原因となります。
- 長時間停車時の連続点灯は行わないでください。バッテリー上がりや光量低下の原因となります。
- 幼児の手の届く所に置かないでください。飲み込んだり、怪我の原因となる場合があります。
- 本製品は経年劣化により発光色が変わる場合があります。著しく光色に変化があった場合は使用を中止し、元のバルブに交換してください。

故障かな?と思ったら

不具合が起こった場合は弊社サイトのトラブルシューティングをご確認頂ければ製品保証を受ける際にスムーズに行えます。

以下のURLまたは右記のQRコードからアクセスできます。
<https://www.sphere-light.com/troubleshoot.html>



車検について

本製品は弊社が定める適合表記載の車種において保安基準第32条の項目を満たすことを確認しておりますが、下記の場合は車検が通らないことがあります。その際は元のバルブに交換するか、レンズの点検を行ってください。

- 測定器の備えがなく検査官の目視による判断を行っている場合。
- 経年劣化による灯具の損傷や、レンズの汚損がある場合。
- 新光源対応デスターを使用していない場合。

保安基準第32条の項目

すれちがい用前照灯

- すれちがい用前照灯は、その照射光線が他の交通を妨げないもの、かつ、そのすべてを同時に照射したときに夜間にその前方40メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。

走行用前照灯

- 走行用前照灯の照射光線は、自動車の進行方向を正射するものであること。
- 走行用前照灯は、そのすべてを同時に照射したときに、夜間にその前方100メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。

⚡ アドバイス

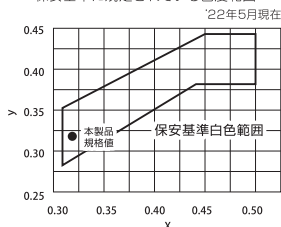
光軸は日々の走行時のショック、タイヤの空気圧や車体重量の変化によってずれる場合がありますので、車検の直前に光軸調整を行ってください。

ヘッドライトデスター測定時の注意事項

2015年6月1日以降に制作された自動車であって、UN R98、UN R112又はUN R113に適合する車両、もしくは2020年7月1日以降の製作車はロービームで測定および調整を行ってください。* 上記以外の車両はハイビームで測定および調整を行ってください。

※車検場の設備・体制整備状況により測定方法が異なります。

保安基準に規定されている色度範囲



SPHERE LIGHT

スフィアライトサポート
0570-666-117 (受付時間はホームページにてご確認ください)
販売元 株式会社SPREAD
<https://www.sphere-light.com>

取付上のご注意

本製品の取付けにあたり、誤った取付方法により、漏電や感電および製品の故障や車両火災の原因とならないよう、下記の点に注意して取付けを行ってください。

- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。
- 本製品は精密な電子機器です。落下させたり、配線を引っ張ったり無理な力を加えないでください。
- コネクター脱着の際はハーネスを持たず、コネクターを持って真っ直ぐに行ってください。端部に無理な力を加えると、端子折れや接触不良により加熱し、コネクター溶解などの破損の原因となります。
- 本製品を点灯させる際、紙や布で覆ったり、ガソリン、可燃性スプレー、シンナーなどの引火の危険性のある物の近くでは点灯させないでください。
- 本製品が破損した場合は、直ちに取付け作業を中止してください。
- 本製品の発光部(LEDチップや電子基板)に手を触れたり水気や油脂などの汚れを付着させた場合は、柔らかいきれいな布でしっかりと拭きとってください。汚れを付着させたまま点灯させると点灯不良の原因となります。
- 交換作業は平らな充分なスペースと安全を確保して行ってください。また、エンジンを停止させてキーを抜いてください。
- 交換したハロゲンバルブは大切に保管してください。
- 取付け後は光軸調整を行ってください。光軸が範囲から外れていると対向車や前方車への眩惑に感だけでなく、本来の性能を発揮できず道路標識・標示歩行者や障害物が見えず、事故の原因となる場合があります。

取付方法

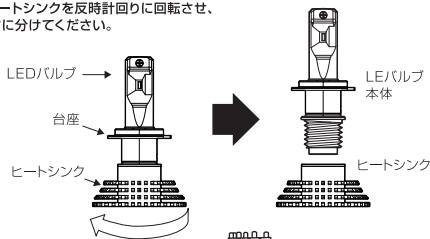
本製品を取付けの際、車種によってはヘッドランプユニットやカウル等を取外すと作業しやすくなる場合がありますので、必要に応じて部品の取外し作業を行ってください。

1 車両の取扱説明書を参考にして本製品を取付ける箇所のバルブを取外してください。

2 LEDバルブの台座を持って、ヒートシンクを反時計回りに回転させ、LEDバルブ本体とヒートシンクに分けてください。

アドバイス

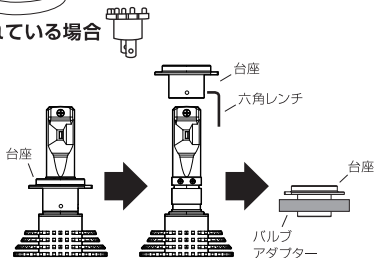
LEDバルブからヒートシンクを取外す際、手を切らないよう、ご注意ください。ヒートシンクを柔らかい布等で包んでから作業を行うと、安全に取外すことができます。



ハロゲンバルブに右記アダプターが装着されている場合

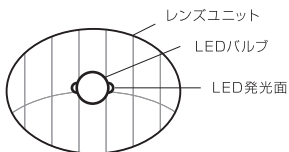
H7バルブの台座にある角度調整ネジを付属の六角レンチを使用して取外し、台座をバルブ本体から外します。外した台座にバルブアダプターを通し、台座をバルブ本体に戻します。

※取外した角度調整ネジは非常に小さいため無くさないよう注意してください。



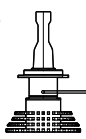
※付属のバルブアダプターのみでは薄くグラつきがあり、固定が困難な場合はH7バルブアダプター 2.8mm(別売/品番:SHJSD)を追加してご使用ください。

3 バルブの固定向きを確認します。



台座の角度調整方法

台座のビスを付属のレンチで緩め、台座部分を回して調整します。角度を合わせたら付属のレンチでしっかりと締め付けて固定します。

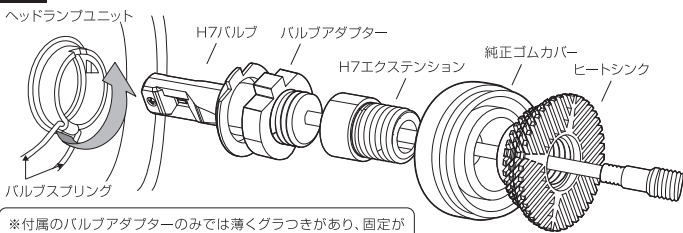


注意

バルブラングの固定向きがレンズによって異なるため、レンズにバルブを固定する際は、LEDバルブ発光面が水平に並ぶように固定してください。上下に発光面を固定すると正しい配光が得られません。

【TYPE A】 純正ゴムカバーに穴が空いており、ハロゲンバルブに右記アダプターが装着されている場合

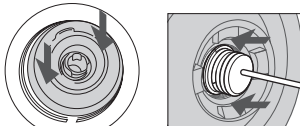
4 純正ゴムカバーを使用し、元の通りに固定します。



※付属のバルブアダプターのみでは薄くグラつきがあり、固定が困難な場合はH7バルブアダプター 2.8mm(別売/品番:SHJSD)を追加してご使用ください。

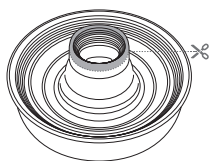
アドバイス

LEDバルブ後部のネジ山が見える位置までゴムキャップの中心を押し込んでください。



純正ゴムキャップを付けた状態でLEDバルブが固定できない場合

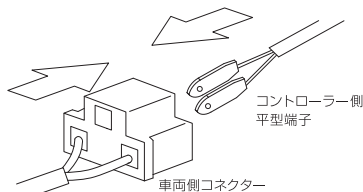
車種によっては、ヒートシンクが純正ゴムキャップと干渉し取付けできない場合があります。その場合は純正ゴムキャップの先端部を図のようにグレー部分を切り取ってから、LEDバルブ本体を取付けてください。



5 LEDバルブとコントローラーのコネクターと、車両側コネクターとコントローラー側平型端子を接続し、点灯確認を行ってください。

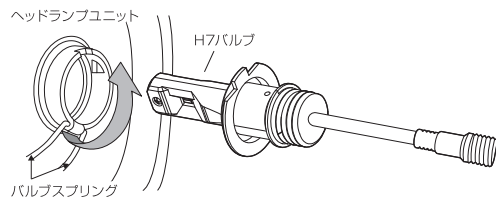
アドバイス

防水と固定のため、ビニールテープなどで保護してください。



【TYPE B】 樹脂やゴムのレンズカバーで塞がられており、車両側コネクターがヘッドライト内部にある場合

4 ヒートシンクを取り外したLEDバルブをヘッドランプユニットに固定します。

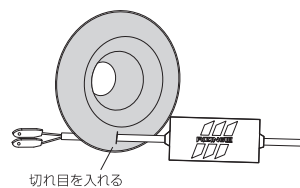


5 付属のゴムカバーを使用します。

カッターやハサミなどで電源ケーブルを通す切れ目を入れます。LEDバルブ接続側のコネクターを防水ゴムカバーに通します。

アドバイス

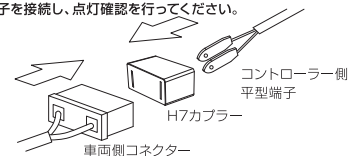
防水ゴムカバーに穴を開けた箇所は、コーキングなどで水が侵入しないようにふさいでください。



6 LEDバルブとコントローラーのコネクターと、車両側コネクターとコントローラー側平型端子を接続し、点灯確認を行ってください。

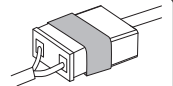
注意

H7カブラーの端子の幅が合わない場合は、直接平型端子を車両側コネクターに接続してください。

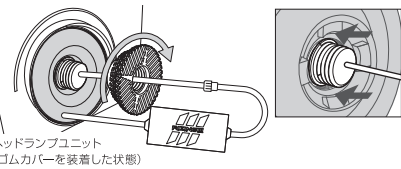


アドバイス

車種によって、車両側コネクターの深さが異なるため、コントローラー側コネクターが最後まで挿さらない場合があります。この場合は、ビニールテープなどで端子を保護してください。



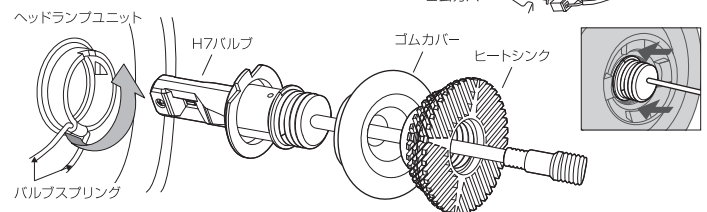
7 手順6で接続した電源カブラーをヘッドランプユニット内に取め(スペースが無い場合はユニット外の他の配線に固定)、ゴムカバーをネジ山が見える位置まで中心を押しこむようにヘッドランプユニットに取付けます。そしてヒートシンクをLEDランプ本体に取付けます。



【TYPE C】 純正レンズカバーに電源ケーブルが通っている場合

4 付属のゴムカバーを使用します。

付属のゴムカバーを使用し、純正レンズカバーは純正レンズカバーごと固定するか、車両側コネクターを分解して取り除いてから接続します。 ※付属のゴムカバーには切れ目を入れず使用します。



5 LEDバルブとコントローラーのコネクターと、車両側コネクターとコントローラー側平型端子を接続し、点灯確認を行ってください。点灯確認後、電源カブラーを車両フレームや他の配線に固定します。

注意

H7カブラーの端子の幅が合わない場合は、直接平型端子を車両側コネクターに接続してください。



共通事項

コントローラーを付属の結束バンドや、必要に応じて長い結束バンドや強力な両面テープなどをご用意いただき、車両側ハーネスや車体フレームなどに固定してください。

